

令和4年度 学校評価シート（自己評価）

新 明 幼稚園

1、園の教育目標

恵まれた自然環境の中で徳・体・智の幼児教育を目標とする

<めざす子ども像>

- ① 情操豊かな幼児（思いやりのある子）
- ② 心身ともに健康な幼児（心も体も健康な子）
- ③ 理解力の深い幼児（話をよく聞き、考える子）の育成をめざして保育に取り組む

2、具体的な目標や計画

新型コロナウイルス感染対策に取り組み、園の実状に応じた運営を行う

- ① 令和3年度を参考にしたうえで、より安全なで子どもたちの発達に即した運営を実施する。
室内プールは、コロナ禍前と同様に実施する。（夏休みプール開放も実施する）
夏まつり・運動会・発表会は3年度と同様に行う予定
- ② 戸外での活動を積極的に行うことで「歩いて育てる心と体」を実践する

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
保育の計画と指導計画の見直し	A	・園児におけるマスク着用、手洗い、うがい、手指の消毒は、徹底して行った。 ・室内プールの水遊びは、園薬剤師の指導のもとに三密をさけながら予定通り実施することが出来た。 ・保育参観・運動会・発表会・卒業式は保護者2名の参加とし、規模を縮小して（全体で）実施することが出来た。
教職員間の連携	B	・保育活動に関して、概ね共通理解を深めて連携することが出来たがコロナ禍3年目となり、気のゆるみを感じることもあった。
保護者との連携、関係づくり 外国籍の保護者との連携、 関係づくり	B	・コロナ感染対策を通して、毎日（土・日を含む）の健康観察カードを活用し、体調管理に努めてもらうことが出来た。 ・学年やクラスの枠を越えて保護者との連携につとめたが、外国籍の家庭には、十分に理解してもらうことが出来なかった。
園内研修の充実を図る 気になる子や特別な支援が必要とされる園児への対応	C	・令和3年度に続きコロナ対策として職員会議に多く時間をとられ、園内研修がおろそかになった。 ・専門家の巡回相談のもとに共通理解をはかることは出来たが教職員間での温度差も感じられた。 無料のオンライン研修などを積極的に活用すべき。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に続いて園行事や毎日の保育活動を実施出来たが、子どもたちの主体的な遊びが十分に展開されたとは言えない。 ・気になる子の指導や保護者対応などについて園内研修の回数が少なかった。 ・どの学年も日常的に近くの公園や畑などへ散歩に出かけ、「歩いて育てる心と体」の実施に努めることが出来た。

○結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の計画性と指導計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが第5類に移行することを踏まえ園行事等の見直しをはかる ・保育の記録をもとに子どもの姿や育ちを振り返り、ひとり一人の理解に努める。 ・主体的な遊びが展開されるような環境構成を考える ・園の教育方針を十分に理解し、無理のない指導を行う。
保護者との連携、関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿や育ち、活動内容や取り組みを令和3年度に引き続いて写真やホームページなどを利用して積極的に伝える ・子育ての悩みや相談に応え、良好な関係を築いていく
園内研修の充実をはかる（気になる子や特別な支援が必要とされる園児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子等の共通理解と個別の指導計画の作成を行うために園内研修の充実に努める ・外国籍の子（保護者）の対応など研修を行い、理解を深めていく
教職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の入れ替えがあるため教職員間の連携が不可欠となる。 ・小さなことでも共通理解を深めながら進めていく